



滑著
奇話

酒取物語

壽



3131
2



出

杜康手好到千秋
酒去春过此重名
痛一富酌得真
山首首为特品
交砒酏

宋

酒深看風舞

山勢似龍成

雪
雪
雪

西
西
西



一
一
一
一
一
一
一
一
一
一

3131
2

言其似此名薄儀此
其意運流切戒可多耐
及現孔名佳半疎必留

遊

遊
遊
遊
遊
遊

蘇酒歌



久斯此神少事神八藥亦作長りけむ其酒一 樂くやう飲
志んれこそらハ十國の蝦夷ハ酒をこらハ酒をハ蝦夷らやハ
のこ我其兒國の見延々見ハ酒のた見ハ頂侍の男の神の人
計の酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこら
をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒
人こらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒
をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒をこらハ酒



中壺



酌 酒量 繁

あはれ

あはれ

あはれ

快然る志

世懐 分岐



あはれの酒 酒量 繁 酒量 繁 酒量 繁

大 酒 斗 一 斗 一 斗 一 斗 一 斗 一 斗 一

酒 樽 亭 梅 山

箱 物 二 月 三 日



桂 手 茶

桂 手 茶 月 三 日 二 月 三 日

林邊向晚獨徘徊月自蟬娟梅自開
 酒錢盡無涯
 風悵人來
 寧翠頰

酒の多し也鄙人調をよ

又川を我逸

酒
 白
 酒
 白
 酒
 白

紫
 何
 如
 鳳
 凰



窗外正風雪擁爐開酒
 缸何如釣船雨篷底睡
 殊五



至
 難
 獲
 之
 人

夜坐一盃酒能消萬
 斛愁世間無限興都
 就此君求

壽
 壽

雪
 鴻
 得
 壽

六六六

酌池上酒

生来愛酒味一

教聲竹間

飲拂塵心數枕

吟一山書

愈添興月花景



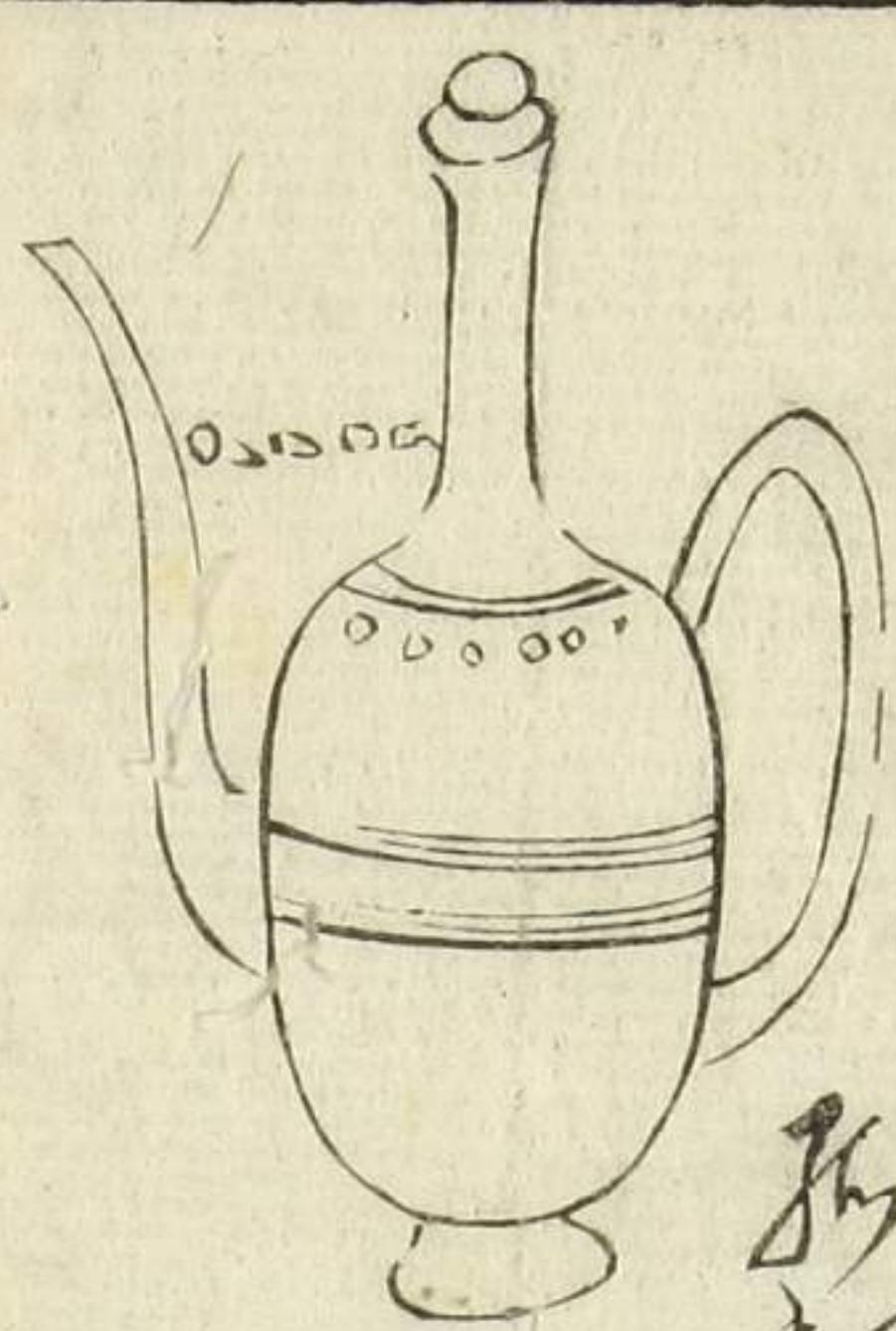
意深



新都寫

茶有丹鎗能逐客

酒兼門戶自留心



ちりあ... 海の傍るれや
く... 強御

紅交




龍聖良公

月... 舟静

舟静

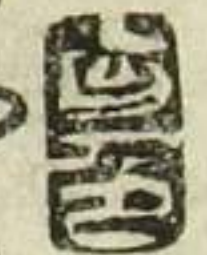
五

六虎ハ燕々酒

春仙 


解部不確莫原


酌酌金銀酒

碁  四月

句之象大担担

共世價

借人 林泉 

勢 

酒正使人之自遠

就奉之世新書

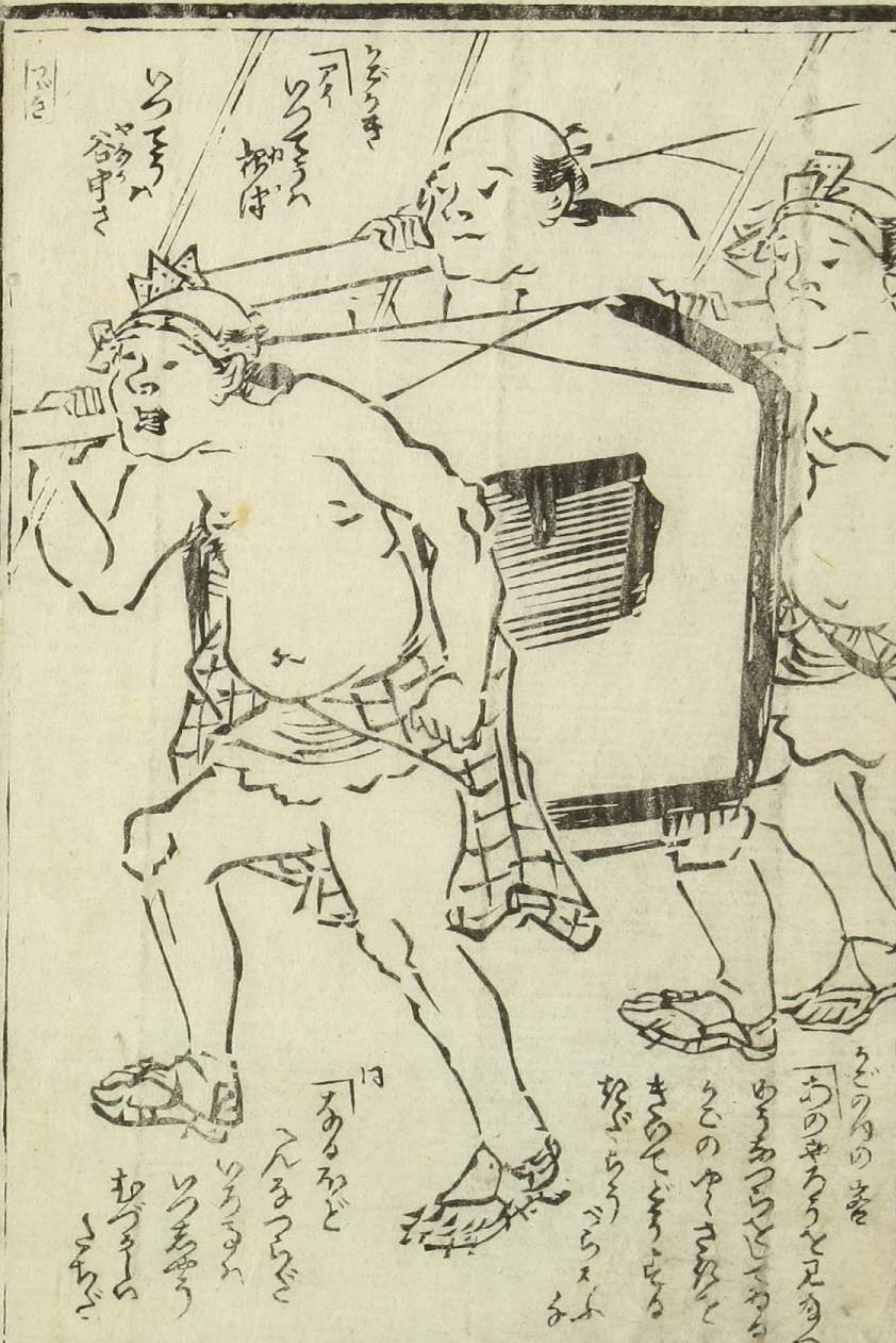
 

酒取物語中之卷

江戸前庭醉客 平亭銀雞戲述



酒取物語中之卷
江戸前庭醉客 平亭銀雞戲述
酒正使人之自遠
就奉之世新書
六虎ハ燕々酒
春仙
解部不確莫原
酌酌金銀酒
碁 四月
句之象大担担
共世價
借人 林泉
勢



つとつとつ
つとつとつ
つとつとつ
つとつとつ

つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ
つとつとつとつ

つとつとつ
つとつとつ
つとつとつ
つとつとつ

つとつとつとつとつ
つとつとつとつとつ

つとつとつとつとつ
つとつとつとつとつ

つとつとつとつとつ
つとつとつとつとつ

つとつとつとつとつ
つとつとつとつとつ

つとつとつとつとつ
つとつとつとつとつ

つとつとつとつとつ
つとつとつとつとつ

つとつとつとつとつ
つとつとつとつとつ

つとつとつとつとつ

〇二
 〇三
 〇四
 〇五
 〇六
 〇七
 〇八
 〇九
 一〇
 一一
 一二
 一三
 一四
 一五
 一六
 一七
 一八
 一九
 二〇
 二一
 二二
 二三
 二四
 二五
 二六
 二七
 二八
 二九
 三〇
 三一
 三二
 三三
 三四
 三五
 三六
 三七
 三八
 三九
 四〇
 四一
 四二
 四三
 四四
 四五
 四六
 四七
 四八
 四九
 五〇
 五一
 五二
 五三
 五四
 五五
 五六
 五七
 五八
 五九
 六〇
 六一
 六二
 六三
 六四
 六五
 六六
 六七
 六八
 六九
 七〇
 七一
 七二
 七三
 七四
 七五
 七六
 七七
 七八
 七九
 八〇
 八一
 八二
 八三
 八四
 八五
 八六
 八七
 八八
 八九
 九〇
 九一
 九二
 九三
 九四
 九五
 九六
 九七
 九八
 九九
 一〇〇

〇二
 〇三
 〇四
 〇五
 〇六
 〇七
 〇八
 〇九
 一〇
 一一
 一二
 一三
 一四
 一五
 一六
 一七
 一八
 一九
 二〇
 二一
 二二
 二三
 二四
 二五
 二六
 二七
 二八
 二九
 三〇
 三一
 三二
 三三
 三四
 三五
 三六
 三七
 三八
 三九
 四〇
 四一
 四二
 四三
 四四
 四五
 四六
 四七
 四八
 四九
 五〇
 五一
 五二
 五三
 五四
 五五
 五六
 五七
 五八
 五九
 六〇
 六一
 六二
 六三
 六四
 六五
 六六
 六七
 六八
 六九
 七〇
 七一
 七二
 七三
 七四
 七五
 七六
 七七
 七八
 七九
 八〇
 八一
 八二
 八三
 八四
 八五
 八六
 八七
 八八
 八九
 九〇
 九一
 九二
 九三
 九四
 九五
 九六
 九七
 九八
 九九
 一〇〇



「あまうとりのを
 はらうとりのを
 うまうとりのを
 とりまうとりのを
 のせうとりのを
 あまうとりのを



「あまうとりのを
 はらうとりのを
 うまうとりのを
 とりまうとりのを
 のせうとりのを
 あまうとりのを

「あまうとりのを
 はらうとりのを
 うまうとりのを
 とりまうとりのを
 のせうとりのを
 あまうとりのを

せう。さればさうてのめうふううや代ととらひあふはまづうを代う一は百文。
 さうてが五百文。うや代う五百文。あひせて二は百文。サるんをうんてはして
 二は百文。いふやふもさうさうめんがくあふく。あふだとおさふ
 うさういふさうしゆえん。うみのさうもさうあふく。今もせふあふあふさういふれ
 ふさうさうさうさうさう。いふさうさうさうさう。たのめとさうけとさういふく
 へんさう。二は百文。いふさうさうて二は百文。むづしきさうさうのあて。うらふあふれ
 ていふさうさうさう。さうさうさうさうさうさう。まふそのよふさうさうさうさう
 さうさうのさうさうさうさうさうさうさう。さうさうさうさう。いふさうの
 うさうさうさうさうさうさうさうさう。たのめあふけとのあふさうさうさう
 ぐのたのめさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

さうさうさうさう。あひひまふさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 〇あふさうさうさうさう。さうさうさうさうさうさうのあふさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 はけさうのさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 のさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 あふさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 りのあふさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 ひつさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 そのさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 けへりさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

おしなせの中

五

まろちふいりおのをきうのかをちやうに
みろつりまがれ八丈のよちとびあまを
こそひめもあまを

かんまき
孔明補
みろつ
いぞもけ
ちやう
かま
まろ



あまをきえかやひめあま
いんりのあまをあまを

あまを

あまをきえかや
まろちふいりおの
みろつりまがれ
きんまき
孔明補
ちやう
いぞもけ
ちやう
かま
まろ



あまをきえかや
いんりのあまを
あまを

めとめん

くあつてふてまふあふあ

させんとまの目くまふあ

一へのまふあ

まふあ

まふあ

まふあ

ふらのまふあをひて

わらふてふあめさせあふあ

まふあをまふあをまふあを



それうりやととくがわんとあめひ

あふあをまふあをまふあ

まふあをまふあ

まふあをまふあ

まふあをまふあ

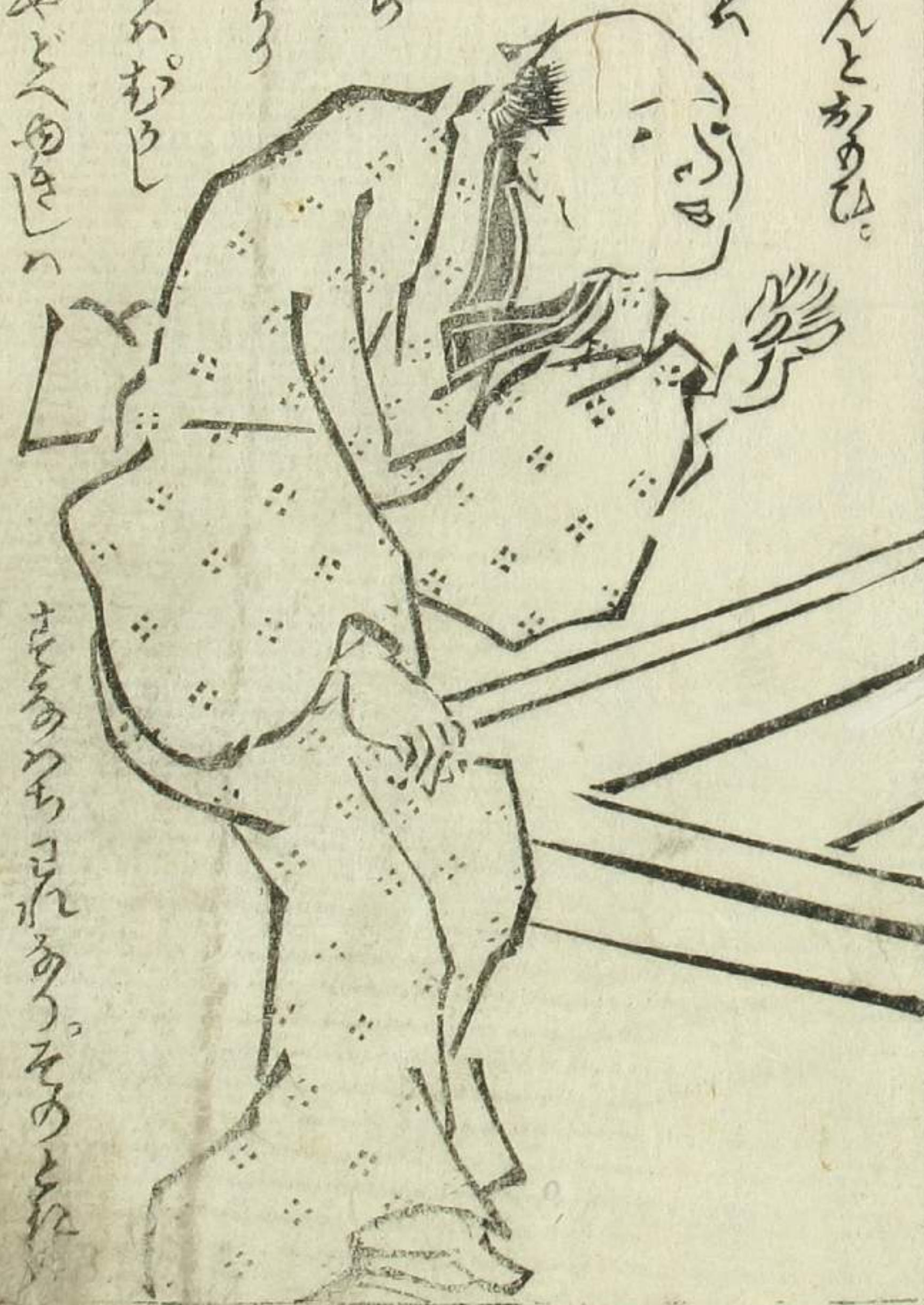
まふあをまふあ

まふあをまふあ

まふあをまふあ

まふあをまふあ

まふあをまふあ



ふりまはるゝんがんはけりやあまゝりりふふあぢぢ
ひもどけー。かめ死はらりとこのむとち。さし

がうよんか人

うあていざ

まぶしの

あぢぢぢ

あぢぢぢ

あうの



⊗ 不意にうらまふ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

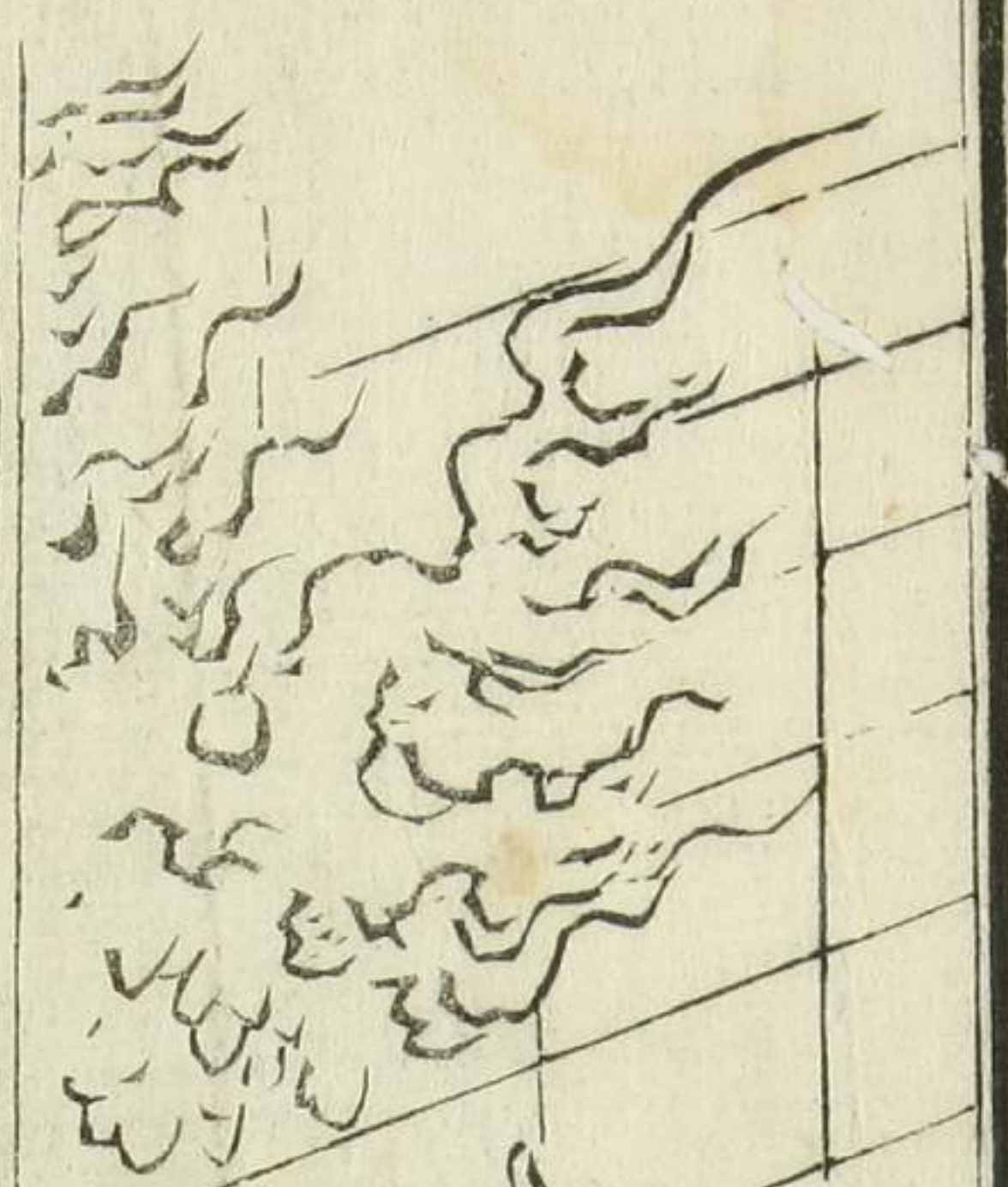
あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ



あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

せぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ
あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

あぢぢぢぢぢぢ

りちあふきう。さくさくあふきあふきとさくせ

てあふきうけんといふことだ。あふき

りちあふきあふきと

まくとけん枝の

のうあふきつまを

花の咲く

あふきあふき

いひつあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふきあふきあふき



あふきあふきあふきあふき



あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふきあふきあふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふきあふきあふきあふきあふきあふき

あふきあふきあふきあふきあふきあふきあふきあふきあふき

たのびしき人、そまの書物
 木のやとあきま
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの



あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの

あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの

あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの



あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの

あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの
 あまのそまの

おんやうのあきつくりうううんむひーをや。アノんをうんぬあなま
 さうびくあびほしくはののときしにまきくそふのうあるとあつ
 こつ。あきうあささうあうあうあうと。なむああらま。花のうう
 こふあびもたのあうあうん。さる花のまようびうせひされ
 ちそあは法師カキのまさううふ。月、いふあたとのこるあふと
 いひまうびや。まこあきびをいつとさうあめをくさしと。よか
 人もあはあきとさあるとたんとせんの花の風のくあふらくたあせ
 あうらまをふままのさたさううう。うこまあどよんせあだ。こまま
 なるまそ。うんままま。うあまはあなうくぞくありあうや
 あれとらあびてまうてふらひあうらうあうらうまやとまけとーとあう

なああまううあまああまあまあまあまあまあまあまあまあま
 あまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 ままあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 花の命。一まあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 そろあてあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあまあま
 花あうあまあま。花の命。いめんあくとじあひ。そまうまうまうまうぬ
 〇酒ううのあまあま。花の命。うらちままま。一ほのまあまをいひいし七痛
 ひまが。かまあひあもあんどまうらひまあま。そのまはあうのやま子達合快
 とつるいああう。びんうままをて究理あまま。ううあまあまあまあま
 ても勝とんびくまうとあまびあまそのまあまのあまあまあまあま

そまをくえんあんの病
 りあはれとせんどもありひ
 よとひひささまのまゐり
 そまをくえんあんの病
 りあはれとせんどもありひ
 よとひひささまのまゐり
 わるゑ俗家ある
 ああけいしふあそ
 いふをまほしむる人金快
 うけ合てそまをくえんあんの病
 あつまるる人まゐり



酒入
 不モウとあまのうらやまのうらやま
 とあまのうらやまのうらやま
 若のうらやま
 りあはれとせんどもありひ

といふこと
 あいやの
 はるの
 まゐり
 まゐり
 まゐり
 まゐり
 まゐり
 まゐり
 まゐり

人ようけい
 コらん
 いひる
 あつまるる
 ひまうん
 いふをまほしむる人
 おのまゐり
 いふをまほしむる人
 いふをまほしむる人
 いふをまほしむる人



あつまるる
 ひまうん
 いふをまほしむる人
 おのまゐり
 いふをまほしむる人
 いふをまほしむる人
 いふをまほしむる人

のこひはちぎらして玉ふいせぬはみのあやごころうもさくまふ
ふりまひあぢあぢとよまひふんふんあはれさみのちあやのりなまはな
くらへあぢしあまらのまよひませうあぢうのたぢあやせむもあひらあ
こにが身をさあつあうたうさなひのつとあぢしその身のあぢあしあうごの
あぢあぢあぢあぢとあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢ
あぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢ
あぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢ
あぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢあぢ

酒取物ごろう中之終

